

大内かわら版



大内地区で取組んでいる『地域の教科書』づくりの情報や、地域を巡り出会った感動などを、「大内かわら版」を通して、地域おこし協力隊・阿部倫子（りん）がお伝えします。

※地域おこし協力隊とは・・・人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方に、地域外の人材を新たな地域社会の担い手として定住させ、地域力の維持・強化を図る活動で、総務省の取り組みの一つです。

大内地区に関わる様々な催しや情報をお伝えします（5月～6月中旬）



仙台の皆さんが機織り体験 5/20
春の丸森を満喫してもらおうというツアーがあり、たけのこ掘りや町内観光後、佐野地織会館で機織り体験もされ大変お喜びの様子でした。



西部地域資源保全会花壇植栽 5/21
三代河原橋のふもとにある花壇に、保全会西向1班の皆さんで花植え作業を行いました。



放課後児童クラブ「うりぼうず」定例会議5/23
地区指導員皆さんの子供達を気遣う配慮、様々な工夫や思いが共有され、子供達の大切な居場所「うりぼうず」の会議が行われました。



平成29年度「生きがづくり大内」5/24
第1回として渡邊満洲さんの講話と「満洲一座」による演芸が行われ、ボランティアの会山屋敷の皆さんが作った昼食を一緒にいただきました。



山屋敷／熊野神社改築 5/27
解体前の神事と基礎工事のための搬入作業が行われました。地域の皆さんの力により年内に落成される予定です。



青葉／こんにやく作り体験 5/27
仙台から来た学生の皆さんが、名人とこんにやくづくりに挑戦！手作りの技・温かみある「味と食感」に感動されていました。



南平フラワー愛好会花壇植栽 6/4
先輩方から世代交代された皆さんが、季節毎の花を楽しめるよう花植え作業を行いました。



第43回「ふるさと大内球技大会」6/11
大内体協主催で、小学校体育館を会場に「ビニールバレーボール」、校庭を会場に「ソフトボール」が行われました。



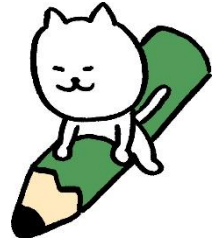
鬼ヶ柵／乳神（つこがみ）様
お母さん達が母乳が出るように願いを込めて手を合わせていたものを再発見。
(5/22 付河北新報にも掲載)

「地域の教科書」づくりの進捗状況

現在 3/10 の推進会議で決定した第 1 段階の「地域の教科書（基本情報版）」を、これまでに引き続き行政区長や住民皆様のヒアリングをもとにたたき台を作成中です。現在、各行政区毎の役割や組織を整理して 12 区毎にまとめているところです。

移住希望者やこれから地域を担う方々に、いかにシンプルに分かりやすく伝えるようにできるかを念頭に置きながらまとめていきます。

その中で出てきた疑問など皆様にお聞きすることもあります。ご協力いただき大内地区の皆様が必要と考える教科書の完成を目指していきます。



■地域の教科書とは

大内地区ならではの慣わし、暮らしの中の決まり事・役割、季節行事、地域の魅力・特徴などをまとめたもので、住民の皆様自身が、大内の未来を考え作っていくものです。

(大内地区協議会・地域おこし協力隊もサポート)

■目的・効果

- 移住希望者に、大内の魅力や課題、地域の風習などを分かりやすくありのまま伝えることで、移住側・受入側双方のトラブルを事前に避け、地域にスムーズに馴染んでもらうものです。
- 地元を離れた大内出身者や、次世代を担う若い世代、U ターン者に地域の魅力や地域の良さをこれからも継承していきたいものを伝えます。
- 地元住民の皆様にとっては自分達の地域の魅力や価値を改めて見つめ直し、再発見する機会になります。

石川町野木沢地区の皆様が大内地区へ視察研修 6/3 (土)

前号でお伝えしました福島県石川町野木沢地区の皆様が大内地区へ視察研修にいらっしゃいました。

様々な地域づくりに取り組む行政区長、自治センターをはじめとする「まちづくり委員会」の役員、「特産部会」としてお漬物づくりなどに励むメンバーのお母さん方、野木沢地区と交流を続ける「宮城大学まちづくり研究室」卒業生 3 名も参加しました。

最初に「いきいき交流センター大内」を訪問し、直売所、レストラン味の里、えごま油絞りの実演を見学。野木沢地区に直売所を作りたいという構想があり、野菜や加工品がどのように販売されているか、レストランの地場産品を活用したメニューや初めて見るえごま油搾取機に興味深々の様子でした。



見学後は大内まちづくりセンターに移動し、大内地区の説明をして、「いきいき交流センター大内」について学び、その後大内地区の皆様も交えてお互いの地域での取り組みや現状を共有する意見&情報交換会が行われました。後継者不足、高齢化、若者の流出をはじめとする地域の課題や農産物の加工・販路についてなど、両地区は共通点が多く「**このご縁を一過性にするのではなく今後も連携していきたい**」という感想を野木沢地区の皆様からいただきました。

また、「いきいき交流センター大内」が高齢者などの生きがいの場となり地域活性に繋がっていること、「地区協議会」が 5 部会に分かれ住民主体となり運営されていること、「大内みらい屋（若もん会）」をはじめとする若いメンバーが意見交換会に出席していたことに大変関心を持たれていました。それとともに**全体を通し地元愛を感じた**ようでした。